

2023年度

学校関係者評価委員会

1. 開催日時： 2024年 2月15日（木）

2. 開催場所： 三草会札幌看護専門学校 会議室

3. 委員： 学校法人 西野学園 理事長
社会医療法人 恵佑会札幌病院 副院長兼統括看護部長
株式会社 北央情報サービス 監査役
北石狩公平委員会 委員長

学校： 校長
副校長
事務長（文責）

4. 報告： 自己点検・自己評価内容についてご意見及び今後の課題、改善策等のご助言を頂き、学校運営に反映していきます。

・学校概要・計画・教育活動等の報告

・別紙2023年度自己点検評価報告

項目	平均評価		今後の課題・改善
	2022年	2023年	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念 ・教育目的 ・教育目標 	4.00	4.00	<p>本校は「人間の尊厳」と「人間愛」2つの精神を基盤とし「人間の尊厳と人間愛の精神が学生ひとりひとりに根付き、変化し続ける社会の中で看護を実践できるための基礎的能力を養い、人々の健康と幸福な生活の向上を目指し、保健・医療・福祉の中で社会に貢献できる専門職業人の育成を行う」としている。</p>
			<p>この2つの精神が根付いて卒業を迎えることができたのか、卒業時における学生の教育目的・目標の達成状況が指標となる。改正カリキュラムがスタートし教育の結果をどのように評価するか、カリキュラム評価に具体的な方法を示し計画立案していく必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程経営 	3.91	3.92	<p>教員の授業準備のための時間確保に関しては、教員間の業務調整、教務事務との業務整理を継続的に行う。</p> <p>また実習指導教員を臨地実習での指導に限らず学内実習・演習の企画にいれ、専任教員と共同させ教育にあたらせることで専任教員の時間確保にむける。</p> <p>実習施設への指導体制の協力依頼は継続して行く。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教授 ・学習（講義・演習・実習） ・評価課程 	3.91	3.94	<p>授業計画立案では、各看護学の単位認定者、それぞれの科目担当教員の教材観、学習観、教育観や看護観を基に実施している。又、授業内容に応じた授業形態の選択・指導技術の工夫・教材教具の活用と開発の展開を選択して実施している。</p> <p>教授・学習・評価過程は、学生、教育内容、教員の3本柱によって成り立つ事から、入学時に授業評価の考え方をガイダンスし承諾を得て、授業評価を実施している。「学べたこと、難しかった内容、講義に対する意見」などを無記名で記載している。教員も授業計画の目標達成の自己評価とフィードバックを実施している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・経営 ・管理課程 	3.91	3.94	<p>学校経営の道標として校長は、学校運営方針、学校経営・管理方針及び学校運営重点目標を示している。</p> <p>2020年度より授業料減免制度認可校となり経済的修学困難学生への適切な対応を行って行く。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入学 ・入学 ・就職 ・進学 	3.98	3.98	<p>就職進学支援の年間計画を立案し病院見学・インターンシップ、就職ガイダンス、就職リハーサル等のガイダンスを計画的に実施している。担当は校長・教務主任・担任が(進路相談教員)個別対応を随時行っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会 ・国際交流 	3.52	3.56	<p>看護の日に町内会にある公園のゴミ拾いをボランティア活動として年間計画として実施している。</p> <p>学習環境では校内・図書室のパソコン利用が出来る設備をしている。専門書蔵書の拡大を図り図書室で学習できる環境を整えており、学生は活用している。</p> <p>課題は福祉施設及び地域の福祉施設等のボランティア活動への奨励や、国際的な視野を広げるという意味で検討が必要である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研究 	3.40	3.40	<p>自己研鑽のための研修・研究活動費は設けられており、各専任教員の学会参加は継続。</p> <p>校内研修委員係を組織に位置付け授業研究、模擬授業、授業評価、事例検討会、学会報告会の年間計画を立案し教員全員が実施し継続している。全体のポイントは上がっているが、研究時間・環境への配慮は必要である。</p>